

「認知症にやさしい図書館」の取組 ～みんなにやさしい図書館を目指して～

広島県 広島市立中央図書館

基本データ

所在地	広島県広島市中区基町 3番1号
職員数	38人
うち司書数	32人
蔵書数	約844,000冊
利用登録者数	約28,000人
年間貸出冊数	約368,000冊 (児童用図書貸出数 約8,000冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実

【活動のねらい】

- 認知症に関する啓発と当事者やその家族が利用しやすい環境を整える。

取組・活動の概要

(1) 広島都市学園大学との連携取組

- 同大学健康科学部教員（作業療法士）、作業療法専攻の学生、同大学図書館司書と協働して取組を実施している。

① 講演会

- 図書館において、同大学教授が認知症に関する講演会「映画で学ぶ認知症」を実施（H29.12.5）

② 展示

- 同大学生が、認知症に関する情報について中央図書館所蔵の本とパネルで紹介。

【展示テーマ】

- 「認知症にやさしい図書館～認知症予防と支援～」(H30.3.10～6.10)
- 「認知症にやさしい図書館～家族支援～」(H30.9.22～11.29)
- 「認知症にやさしい図書館～認知症の予防とリハビリテーション～」(R元.9.14～11.28)



展示準備の様子



展示 認知症にやさしい図書館

③ 展示についてのアンケート（利用者、職員）

④ 講座

- 図書館において、同大学准教授を講師に迎え、認知症に関する理解を深める講座を実施

【講座テーマ】

- 「認知症を知る～本を選ぶポイント～」(H30.5.25)
- 「認知症を知る～認知症の情報や本の探し方～」(H30.10.27)
- 「認知症を知る～認知症のタイプ別症状の特徴を知る～」(H30.11.2)
- 「認知症を知る～認知症の予防とリハビリテーション～」(R元.10.25)

⑤ 認知症ブックカフェ

- 令和元年11月、令和2年1月に「認知症ブックカフェ」を開催。
- 図書館において、同大学生による認知症に関する絵本の読み聞かせや本の紹介、同大学准教授等による認知症に関する解説、交流会を実施。



認知症ブックカフェで読み聞かせをしている様子

(2) 図書館の取組

- ① 認知症の啓発を目的としたミニ展示の開催 (H29.1.5~1.29)
- ② 「認知症サポーター養成講座」の実施 (職員対象) (H30.1.31)

取組・活動の工夫や特徴

- 実施にあたっては、大学生に展示本の選定・展示・紹介文の作成や広報などに積極的に取り組んでもらった。
- 「認知症ブックカフェ」では、大学生が絵本の読み聞かせや本の紹介をするとともに、グループ交流で参加者と一緒に話しをすることで異世代交流につながった。

取組・活動の成果や今後の展望

- 大学との連携により、当館の選書や取組について専門的な立場からの助言を受けることができています。
- 職員アンケートと聞き取りによると、「認知症にやさしい図書館」の取組により、職員の認知症への理解も深まり、カウンター対応にいかすことができています。

- 利用者アンケートによると、「認知症にやさしい図書館」の展示が図書館に来るきっかけとなった人も多く、また、認知症当事者やその家族にとっても図書館は情報を収集できる場所として期待されていることがわかった。
- 展示期間以外でも「認知症」の本が手に取りやすくなるように、館内表示や分類の見直しに取り組んだ。



書架の様子

- 今後も、専門機関と協力しつつ、図書館サービスのあり方を検討し、認知症当事者やその家族だけでなく、みんなが気軽に利用できるやさしい図書館であるように、模索していきたい。